



平野 隆史
ひらの たかし

町内における残土、盛土の状況

Q 玉の内地区の残土埋立箇所

(第二工区、第三工区、第四工区) 状況について。

(課長) A 昨年7月に、第二・三工区

の施工者に造成地の適正な整備を、また、第四工区の施工者に町道の通行支障物の撤去を実施するよう通知しているが、現在まで実施されていない。

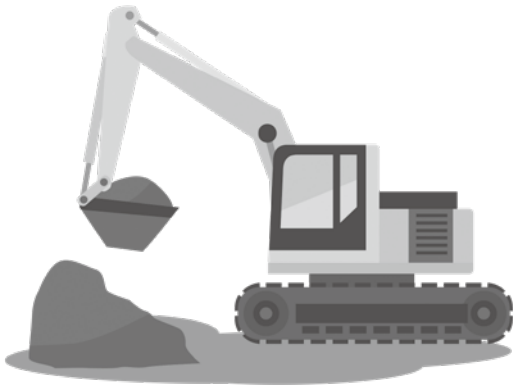
昨年7月に東京都多摩環境事務所に対し、許可どおり施工が行われるように業者への指導と現場の監視を文書で要請している。

Q 長井地区の残土埋立(太陽光発電施設、水路復旧工事)の状況について。

(課長) A 太陽光発電施設工事について

は、昨年11月29日に多摩環境事務所による完了検査が行われ、本年1月9日に検査済証が発行された。

事業主から委託された水路復旧工事の設計会社が、本年1月11日に町に来庁し、



関係課と協議を行った。水路の復旧工事に伴う測量が、本年1月29日から始まった。

Q 今後の対応について。

(課長) A 玉の内地区の残土現場については、関係課によるパトロールを継続する。

多摩環境事務所と情報の共有化を図り、適正工事の指導の要請を引き続き行っていく。長井地区の残土の現場については、水路の復旧工事が早期に実現するよう必要な指導や設計会社及び事業主への働きかけを行っていく。



大澤 弘子
おおさわ ひろこ

「居場所づくり」について

Q 「居場所づくり」について

の考えは。

(課長) A どのような状況にあっても

切れ目なく人とつながることのできる多種多様な活動・空間を「居場所」と捉え、まずは既存施設の環境整備へ投資し、同時に新たなニーズに対応する取組みを検討していく。

Q 町民の意見反映について具体的な構想は。

(課長) A 第六次長期総合計画の策定に向け、意見の拾い上げを行っていく。

Q TOKYO長寿ふれあい食堂推進事業について、町の考えは。

(課長) A 東京都が令和6年度の新規事業として予定しているもので、日の出町でも今後、他の高齢者福祉サービス状況も踏まえ、総合的に研究していく。

Q やまびこホールの居場所としての活用は。

(課長) A 現在は集会施設として利用しているが、ホワイエ(ロビー等)の活用も今後視野に入れていく。

公共施設について

Q 町内の公衆トイレの現状と課題は。

(課長) A 都市公園内のトイレは問題なく使用できる状態にあるが、バリアフリー化などは進んでいない。現在改修工事の予定はないが、トイレも含めて魅力ある都市公園づくりを行っていく。

Q 町民グラウンドのトイレを災害対応トイレとすることは可能か。

(課長) A 立地上の懸念点はあるが、下水道を使わないトイレなど新たな機能面も視野に入れ、検討していく。

